



## 御本社東面石玉垣竣工奉祝祭

神山町の当宮御本社の東面に、石玉垣を建立する事業の方が、今月十日竣工となります。

この事業はもともと、平成三十年の台風被害で本殿大屋根、稻荷社屋根など、各所に被害が及び、その修復費用等に充てる事を目的に、また令和の御即位奉祝記念と致しまして玉垣建立による募財活動が始められました。が、その後のコロナ禍により、工事の延期が続き、ようやく本年になって取り掛かかれる段取りとなりました。

基本的には当宮の古くからの崇敬者の方々を優先にご寄進のご案内をさせて頂いており、当初は規模も一部分だけに留める予定でありましたが、コロナ禍での着工延期により、奇しくも本年、当宮主祭神であります嵯峨天皇さまが、当地を行幸されましてから一千二百年目の慶節に当たる事から、範囲を拡大し、東面全域に石玉垣を建立する事となりました。

そして募財開始より今日までに、氏子崇敬者皆さまからの赤誠のご寄進を賜りまして、お陰様で竣工の運びとなりました事、心より厚く御礼申し上げる次第です。

またこの事業の一環と致しまして、東門には当宮の社号碑、由緒碑がこれまでございましたので、こちらも新たに建立する事となりました。特に社号碑の揮毫につきましては、令和の元号をお書きになられました茂住修身(菁邨)先生に揮毫をお願い致しました。十日の竣工奉祝祭の折にはこちらの除幕式も予定しております。

石玉垣は大変長い年月残るものであり、この令和という時代に、梅田で生きた人々のお名前は大神さまのお目元で、未来へ永く伝えられる事と思う次第です。

なお、石玉垣にはまだ若干の残柱がございます。ご奉納ご希望の方は左記事務局まで「玉垣奉賛のご案内を送付下さい」とご連絡下さいませ。追ってご案内をお送りさせて頂きます。

網敷天神社 御本社 玉垣奉賛事業 事務局

電話 〇六一六三七一一一五八六

メール tunashiki@jinja.jp は、

## 七五三詣のご案内

※本年は上記の玉垣竣工奉祝祭の関係上、神山町の御本社本殿でのご祈禱を、十一月十四日まではお受け出来ません。悪しからずご了承下さいませ。

当宮では七五三のご祈禱を受付けております。ご予約制となっておりますので、まずは総合受付である、茶屋町の御旅社までお電話か、メールにてご予約下さい。

なお、基本的に七五三のご祈禱は神山町の御本社にて執り行いますが、参列数五名までであれば茶屋町の御旅社でも執り行う事は可能です。※七五三は数之年(満年齢に一歳足す)で計算します。

・三歳 令和元年生(亥) 女児(又は男児)

・五歳 平成二十九年生(酉) 男児

・七歳 平成二十七年生(未) 女児

ご予約は下記まで 〇六一六三七一一一五八六

tunashiki@jinja.jp

## 菫神社 朱色塗り替え

角田町の菫神社のお隣に、今月三日に開店される、(株)ドルチェ楽器器のご代表様より、修繕奉納のお申し出を頂き、菫神社の鳥居、玉垣の朱色を塗り替えて頂きました。建立より二十年を経て退色しておりました鳥居等も輝きを取り戻しました。ご篤志、誠にありがとうございました。

## 今月の暦

【祭祀】新嘗祭(廿三日)：日本全体の秋祭 神事のみ

【節気】立冬(七日)：秋が極まり、いよいよ冬の気配が立つ頃  
小雪(廿二日)：寒い地域では雪が降り始める頃

【雑節】亥の子(十一日)：旧暦十月初亥の日。無病息災。炬燵の日  
七五三(十五日)：子祝 三歳男女、五歳男子、七歳女子

【大安】十一月一日、六日、十二日、十八日、廿四日、卅日

【朔望】朔月(五日)、上弦(十一日)、満月(十九日)、下弦(廿七日)

【祝日】文化の日(明治節・三日)、勤労感謝の日(廿三日)

【旬】〔野菜〕春菊、ネギ、山芋、牛蒡、ホウレン草

〔果物〕リンゴ、クリ、早生ミカン、キウイ  
〔魚介類〕秋刀魚、カキ、ホッケ、銀鮭、クエ  
〔その他〕きのこ類、菊、山茶花、柊の花、木瓜

## 網敷天神社 SNS、地図サイト



編著 網敷天神社 禰宜(御旅社 神主)

白江 秀 知

